

## 平成 21 年度卒業生フォローアップ調査

### 〈調査概要〉

目的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

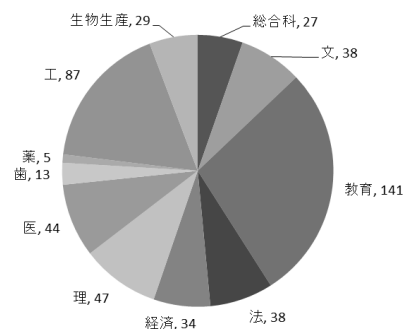
対象：平成 21 年度卒業生

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期間：平成 27 年 12 月 25 日～平成 28 年 2 月 28 日

状況：発送数 2497、未達数 147、回収数 503、有効数 503、回収率 21.4%

内訳：総合科学部 27、文学部 38、教育学部 141、法学部 38、経済学部 34、理学部 47、医学部 44、歯学部 13、薬 5、工学部 87、生物生産学部 29

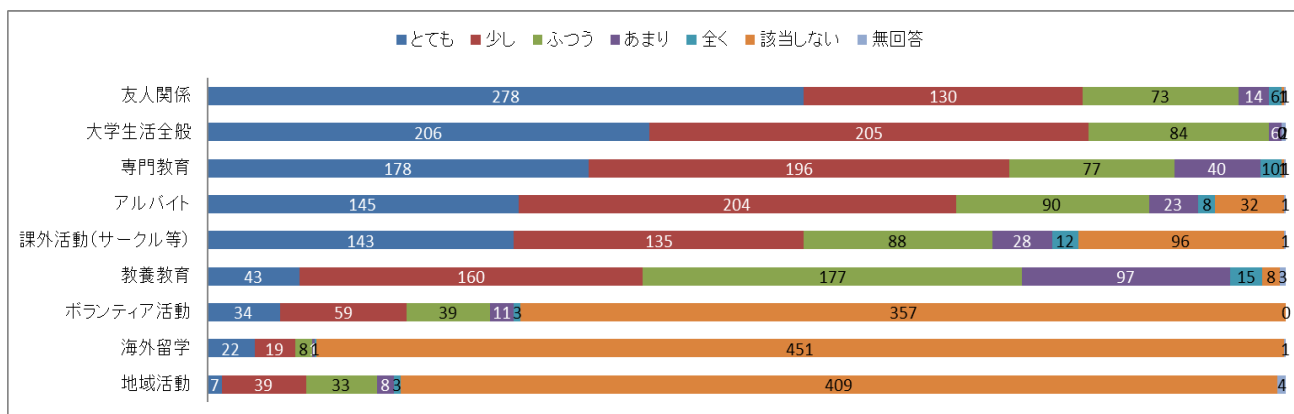


### 〈調査結果〉

#### 【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動 (サークル等), 4. アルバイト, 5. 海外留学, 6. ボランティア活動, 7. 地域活動, 8. 友人関係, 9. 大学生生活全般

#### 【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

前年同様、最も評価されていたのは、8. 友人関係である。ほとんどの学部が友人関係でコミュニケーション能力を養い、社会に出てから役に立っているという意見をしている。特に総合科学部・文学部・教育学部では教職に就いた卒業生が教育現場でコミュニケーション能力を重要視している。

2 番目の評価を得ているのは、9. 大学生生活全般と、これも前年同様である。これは大学生生活全体を見て、アルバイトや講義の知識等、何かしらの経験が就職して役に立っているという意見が多かった。

3 番目に評価されていた、2. 専門教育は、どの学部でも専門職の現場で活かされているという趣旨の意見が多いという事から評価の高さがわかる。工学部の意見に知識や経験が役に立っているという事が多くある。

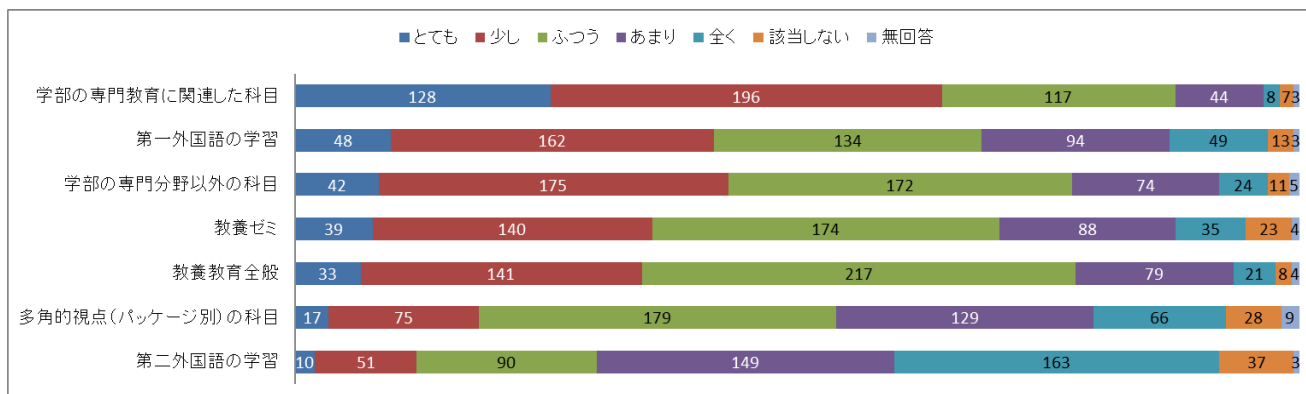
総合的に見ると、大学での活動によるコミュニケーション・専門知識が重要であるという意見が多く見られる。

(6. 学士課程教育について)

【質問】(1) 教養教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 第一外国語の学習, 2. 第二外国語の学習, 3. 多角的視点(パッケージ別)の科目, 4. 学部の専門教育に関連した科目, 5. 学部の専門分野以外の科目, 6. 教養ゼミ, 7. 教養教育全般

【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

最も評価されていたのは、前年度同様に4. 学部の専門教育に関連した科目である。社会に出て専門知識の活用をしているという意見があった。また、印象として一番残っている為か、「もっと学習していれば良かった」というような意見も多数見られた。

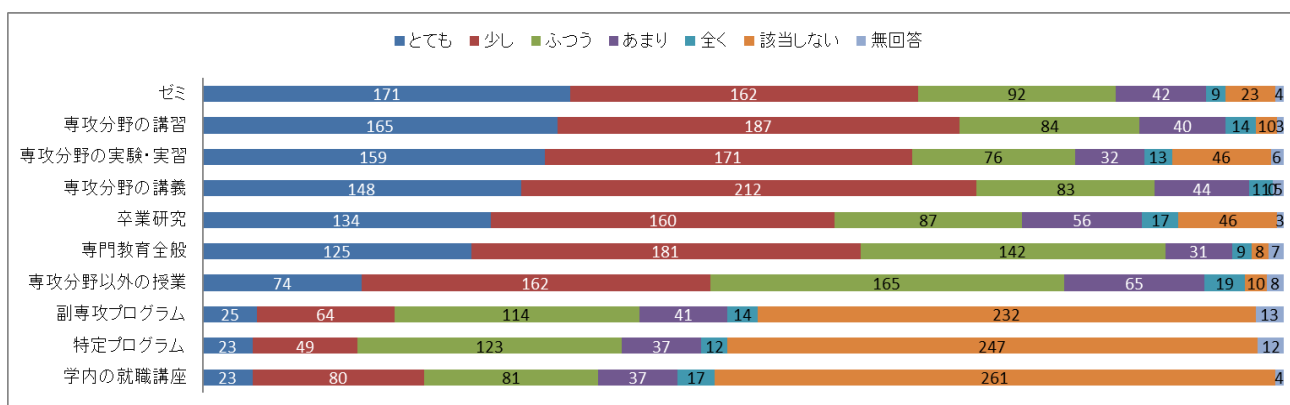
意見として最も多く挙げられていたのが、1. 第一外国語の学習, 2. 第二外国語の学習である。「もっと真剣に取り組めば良かった」とや「より実践的な内容の授業を受けたい」というような意見が多く見られた。これは、社会に出て特に英語に接する機会が増えた為、振り返っての反省が強くなってきたのであろう。読み書きの知識よりも会話や聞き取りなどに力を入れたいという意見が多い。また、海外留学をしなかった後悔の意見もあった。

評価の低い2. 第二外国語の学習, 3. 多角的視点(パッケージ別)の科目に関しては、受講段階で興味が薄かったり、社会に出て活用が少ないという実感が低い評価に繋がっている。しかし、「不要だった」というネガティブな意見の中、「雑学として役立つ」とや「視野が広がった」などポジティブな意見も見られ、社会で見識を広げるのに役立っているようだ。

【質問】(2) 専門教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 専攻分野の講義, 2. 専攻分野の演習, 3. 専攻分野の実験・実習, 4. 専攻分野以外の授業, 5. ゼミ, 6. 卒業研究, 7. 副専攻プログラム, 8. 特定プログラム, 9. 学内の就職講座, 10. 専攻教育全般

【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

この設問も、前年同様、7. 副専攻プログラム, 8. 特定プログラム, 9. 学内の就職講座以外が高い評価を受けている。専門分野の職

## 平成 21 年度卒業生フォローアップ調査

に就いた卒業生からは「働く上で役に立っている」という意見が多かった。しかし、専門分野とは関係ない職業に就いた卒業生が多かった為か、「直接は役に立っていない」というような意見も目立った。

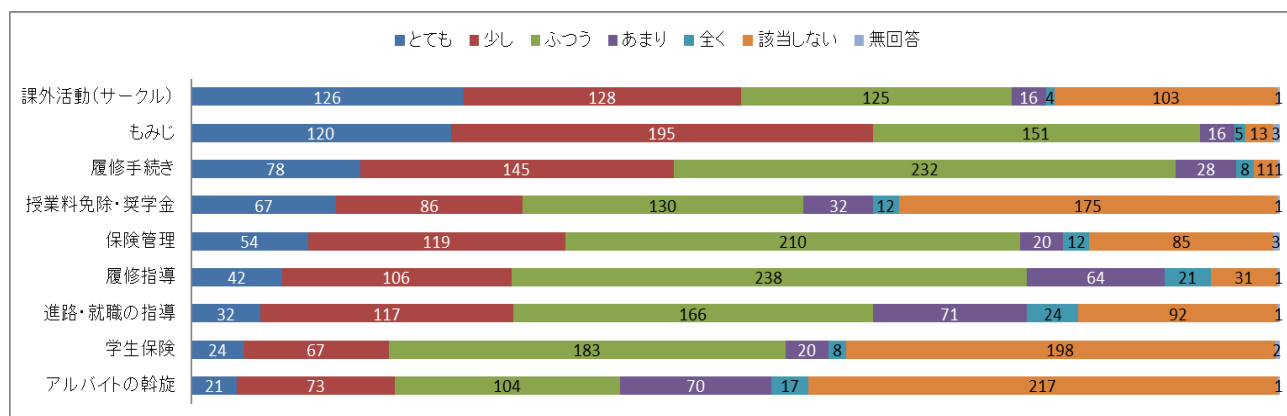
意見として多く見られたのが、「もっと勉強していれば良かった」という内容である。これは、就職し実際に活用する場があり、自身の知識や技術に不満を感じているからだろう。「勉強した方が良い」と気づける様な取り組みがあれば良い」という意見があったことから、学生時代には社会に出て実際に学習した事が役に立つイメージができずに講義・実習を受けていると言える。

### (7. 学生支援について)

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

- 履修手続き, 2. 履修指導, 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル), 6. アルバイトの斡旋, 7. 学生保険, 8. 保険管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】



全項目が前年同程度の評価を得ている。4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル) が評価として高く、学生支援に大きな影響を与えているようだ。ただ、本年は4. もみじのシステムを便利で助かったとしながらも、学生の支援・指導員に対する良い意見が多くみられる。前年は大学側の職員に対する不満が多数見られたが、本年では「丁寧な対応」や「親切に」という言葉が入った意見が多数見受けられた。数値的にも若干ではあるが、前年より“とても”“少し”の数が増加している為、学生の対応に改善がなされていると判断できる。しかし、いまだに大学側の職員の対応に不満を持った卒業生がいることから、更なる学生支援の改善が望まれる。

また、3. 授業料免除・奨学金や6. アルバイト斡旋, 7. 学生保険の“該当しない”が多く目立つ。これは人から支援を受けたという意識より、もみじの利用や先輩・教員に相談しながら解決して、自ら行動したという意識が強いからだろう。意見の中にも「自分がやるかやらないか」や「自分から動く」などの記述がしばしば見られた。

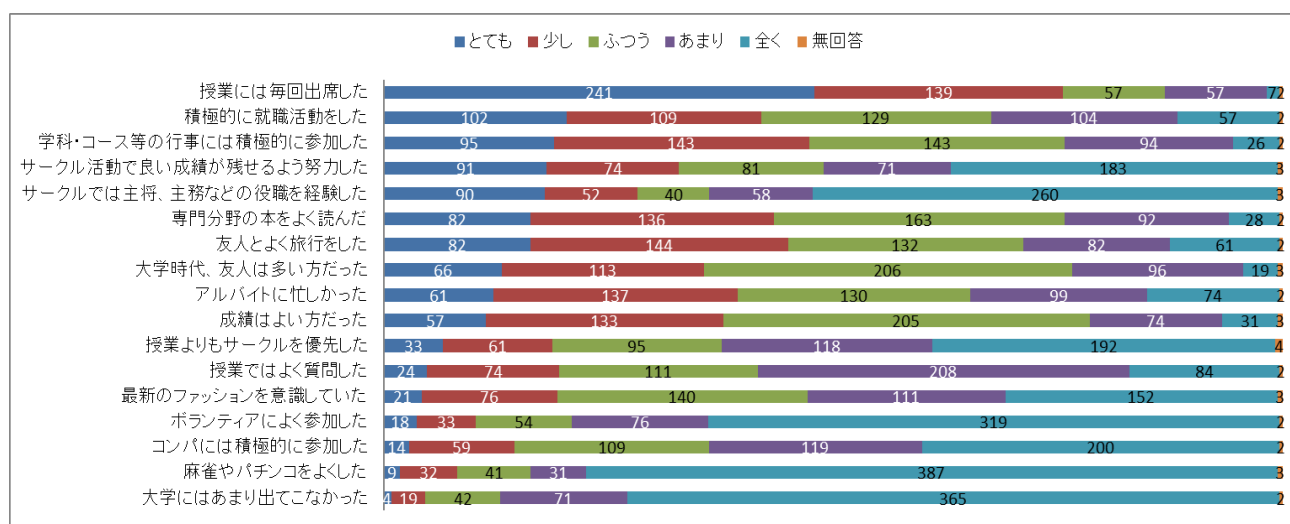
### (8. 学生生活について)

【質問】 (1) 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

- 授業には毎回出席した, 2. 授業ではよく質問した, 3. 成績はよい方だった, 4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した, 5. 専門分野の本をよく読んだ, 6. 積極的に就職活動をした, 7. 授業よりもサークルを優先した, 8. サークル活動で良い成績が残せるよう努力した, 9. サークルでは主将, 主務などの役職を経験した, 10. アルバイトに忙しかった, 11. ボランティアによく参加した, 12. 最新のファッションを意識していた, 13. 麻雀やパチンコをよくした, 14. 大学時代, 友人は多い方だった, 15. コンパには積極的に参加した, 16. 友人とよく旅行をした, 17. 大学にはあまり出てこなかった

【結果】

## 平成 21 年度卒業生フォローアップ調査



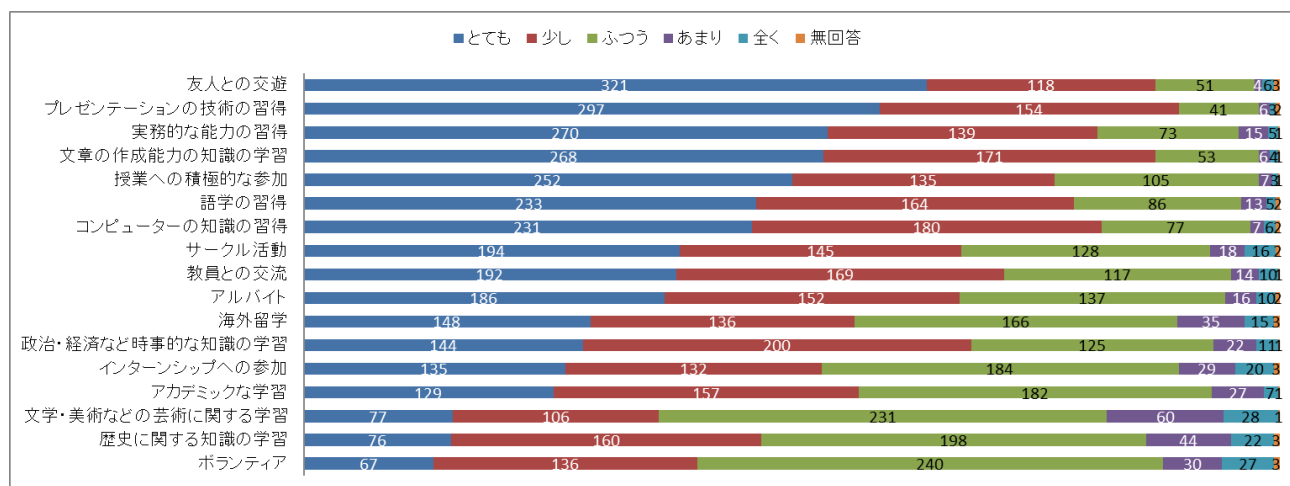
全項目、前年と同程度の評価を得ている。1. 授業には毎回出席したが最も多く当てはまったようだ。多くの学生が学業を中心に大学生活を送っていたという事は意見からもわかる。前年と比較して、2. 授業ではよく質問した・5. 専門分野の本をよく読んだという項目の数値が増加しており、授業に取り組む姿勢を裏付けている。しかし、そのような中、アルバイトやサークル、友人との付き合いを優先させていたという意見も多く見られることから、人に会う為に授業へ出席した卒業生もいたようである。

反対に“あまり”や“全く”という評価が目立っている。これは、主に学業中心に大学生活をしてきた卒業生がもっと積極的に遊びやサークル・アルバイトをすれば良かったという意見が多くみられることから、振り返って反省していることが要因と見られる。

### 【質問】(3) あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

1. 授業への積極的な参加
2. 教員との交流
3. 実務的な能力の習得
4. インターンシップへの参加
5. アカデミックな学習
6. 文学・美術など芸術に関する学習
7. 政治・経済などの時事的な知識の学習
8. 歴史に関する知識の学習
9. 文章の作成能力の知識の学習
10. プレゼンテーションの技術の習得
11. 語学の習得
12. 海外留学
13. コンピュータの知識の習得
14. サークル活動
15. アルバイト
16. ボランティア
17. 友人との交遊

### 【結果】



ほぼ全ての項目において、卒業生が学習や経験を強くすすめるという結果になっている。

どの学部も共通して、「興味を持ったことは何でもチャレンジすること」「今しかできない事をやる」「色々な人と交流を持つ事」「自由な時間を有効に」という意見を寄せている。その中でも、10. プレゼンテーションの技術の習得、17. 友人との交遊を重要視している。学生時代に身に付けたコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力は、社会に出て最も自身に影響するスキルのような。学生の内に養っておく事を進める意見が多く見られた。